

単元名 住田の宝、栗木鉄山

(第 1 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○栗木鉄山の探究を通して、栗木鉄山があった地域の様子や、生産の様子について知り、その特色を捉えることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○栗木鉄山のよさや発展した理由について、鉄の生産の様子と町の自然環境を関連付けて考えることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○課題解決に向けて、栗木鉄山を詳しく知る人との対話や、グループでの伝え合いをしながら探究活動を行うことができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○栗木鉄山に関心をもって学び、自らの学習を振り返り調整しながら活動を行うことができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・栗木鉄山について学び、そのよさや発展した理由について理解を深めている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・栗木鉄山について調べていく活動を見通し、計画を立てて取り組んでいる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・栗木鉄山の価値について自分の考えをもち、よく伝えるように表現を工夫して新聞に書いている。
	3 ☆提案・発信する力	・栗木鉄山に関わる取り組みや栗木鉄山のよさについて、自分の思いがよりよく伝えるように、表現を工夫して発信している。
	4 ★好奇心・探究心	・栗木鉄山について興味・関心をもち、積極的に探究活動を行っている。
	5 ★困難を解決しようとする心	・栗木鉄山について調べる中で、課題が解決できないときでも、他の解決方法を考え、粘り強く最後までやり遂げようとしている。
C 関人す間る関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	・栗木鉄山についての自分の考えを分かりやすく話したり、相手の話を分かろうとして聞いたりしている。
	2 ☆協働する力	・友達と協力しながら栗木鉄山について新聞づくりを進めている。
	3 ★他者受容	・新聞を交流し、友達の様々な見方・考え方を共感的に受け止めたり、栗木鉄山のよさ気付いたりして、他者を尊重している。
D 関自律的活動に資質能力	1 ☆感じ取る力	・栗木鉄山についての学習を振り返り、調整しながら探究活動を進めている。
	2 ☆創出する力	・調べた栗木鉄山の価値を自分なりの方法で表現し、伝えようとしている。
	3 ★自己肯定感	・栗木鉄山についての学習活動を通して自分の成長や栗木鉄山のよさを伝えていくことの大切さに気付き、今後の学習や生活に生かそうとしている。

単元の指導

(全 24 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な活動内容と 関連する教科・領域	関連する 教科・領域	評価項目 (評価方法)
4 5	栗木鉄山って何だろう	問題の理解 状況把握	3	・住田町の資源について話し合う。(ウェビングマップ) ・学年のテーマを確認し、1年間の見直しをもつ。	国語 「きいて、きいて、きいてみよう」「インタビューをするとき」 B4 「みんなが過ごしやすい町へ」C1	B1 ☆見通す力 (チェックリスト)
		課題設定 情報取集	5	・役場にある栗木鉄山の模型や写真を見学し、栗木鉄山について調べる計画を立てたり、栗木鉄山について興味をもったことについて、インターネットで調べたりする。 ・栗木鉄山について調べたことを交流し、その中から自分がさらに追究したいことを見つけ、課題を設定する。		A◎地域理解(ワークシートの記述) B4 ☆好奇心・探究心(チェックリスト) B5 ☆困難を解決しようとする心(発言・観察)
5 6	栗木鉄山を見学しよう	見直し	4	・栗木鉄山を見学するにあたって、自分が何を知るために、どのような方法で解決するのか、課題解決の道筋を立てる。 (一問一答のような形で、知りたいことをまとめておく。フィールドワークでゲストティーチャーに質問して解決することを確認する。)		B1 ☆見通す力 (チェックリスト)
		課題解決	4	・栗木鉄山を見学し、その様子や当時の産業の様子について調べる。 ・ゲストティーチャーの説明を聞いたり、質問したりして自分の課題を解決する。		B2 ☆多面的・多角的に考える力 (ワークシートの記述・発言・観察) D1 ☆感じとる力 (発言・観察)
6 7	栗木鉄山についてまとめよう	新聞作成	7	・新聞発表の原稿をつくり、グループで読み合い推敲する。 ・出来上がった新聞をグループごとに発表の練習をする。		B3 ☆提案・発信する力(新聞の記述) C1 ☆伝え合う力 (発言・観察) C2 ☆協働する力 (発言・観察) D2 ☆創出する力 (新聞の記述・発表)
		まとめ 振り返り	2	・新聞を友達と交流し、栗木鉄山のよさや発展した理由について考えたことを交流する。 ・単元をふり返り、自分の探究についてまとめる。		C3 ☆他者受容 (ワークシートの記述・発言・観察) D3 ☆自己肯定感 (ワークシートの記述)
時数計			24	時間		

単元名 住田の宝、森林・林業

(第 2 単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○住田町の森林をいかした町づくりを知ることを通して地域のよさを知り、積極的に調査・探究活動をすることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○住田町の森林をいかした町づくりの事業について、その取組のよさを考え、よりよい社会づくりに向けて自分ができることを提案をすることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○住田町の森林をいかした町づくりに関わる人との対話やグループでの伝え合いをしながら、課題解決に向けて活動することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○住田町の森林をいかした町づくりに関心をもって学び、自らの学習を振り返りながら探究することができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・住田町の森林をいかした町づくりについて、そのよさに気付きながら理解を深めている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・住田町の森林をいかした町づくりや林業のよさについて調べていく活動を見通し、自らの課題を解決するための手段や方法について考えたり、計画を立てたりしている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・住田町の森林をいかした町づくりや林業のよさについて、それぞれを関連づけたり、統合したりしながら考えている。
	3 ☆提案・発信する力	・住田町の森林をいかした町づくりや林業のよさについて、自分の思いがよりよく伝わるように、表現を工夫して発信している。
	4 ★好奇心・探究心	・住田町の森林をいかした町づくりや林業について興味・関心をもち、積極的に課題の解決に取り組んでいる。
	5 ★困難を解決しようとする心	・「森林・林業」の学習で、課題解決や発表に向けての活動がうまくいかないときも、原因を考え、改善して最後までやり遂げようとしている。
C 人間関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	・住田町の森林・林業の取組で、わかったことや自分の考えを分かち合ってもらえるように相手意識をもって話したり、相手の話を分かろうとして聞いたりしている。
	2 ☆協働する力	・友達と協力しながら林業がさかんなわけを調べている。
	3 ★他者受容	・友達の考えや森林や林業に関わった人の思いに気付き、大切にしている。
D 自律的活動能力に	1 ☆感じ取る力	・「森林・林業」についての学習を振り返り、分かったことや感じたことをこれからの生活や学習に生かそうとしたりしている。
	2 ☆創出する力	・住田町の森林をいかした町づくりや林業のよさを自分なりの方法で表現し、伝えようとしている。
	3 ★自己肯定感	・住田の「森林・林業」についての学習活動を通して自分の成長や森林を守り育てていくために自分たちができていることに気付き、今後の学習や生活に生かそうとしている。

単元の指導

(第2単元 全40時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動と思考ツール	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
8・9	住田の産業を調べよう	見直し	3	<ul style="list-style-type: none"> 住田町の森林について知っていることを話し合う。(ウェビングマップ) 森林のもつはたらき、森林と人のかかわり、木の活用について考える活動を通して、住田町の林業に関心をもつ。 	国語 「新聞を読もう」 C1 理科 「流れる水のはたらき」 A B2	A◎地域理解 (チェックリスト) B1見通す力 (ルーブリック評価)
		情報収集	4	<ul style="list-style-type: none"> 森林・林業について自分が調べたいことを見つけ、個人やグループで調べる。(林業・木造建築・クツブ・種山・森の案内人・チェーンソーアート・木育等) 	国語 「統計資料の読み方」「グラフや表を用いて書こう」 B2 B3 C1	B4★好奇心・探究心 (ルーブリック評価)
		まとめ振り返り	7	<ul style="list-style-type: none"> 森林・林業日本一を目指す町の取り組みで、わかったことをまとめる。(リーフレット等) わかったことについて発表会をする。 発表会を振り返り、発表の仕方のよさについて考える。 	社会 「森林とともに生きる」 D1 D2 外国語 「I love my town」 C3	C1★伝え合う力 C3★他者受容 (パフォーマンス評価)
10・11・12	住田の産業を盛んにするために	現状把握	1	<ul style="list-style-type: none"> 住田町の「森林・林業」に関わるゲストティーチャーから話を聞き、その思いや願いに触れ、新たな気付きや思いをもつ。 	国語 「伝える表現を選ぼう」「提案しよう、言葉とわたしたち」 B3 C1	C1★伝え合う力 C3★他者受容 (チェックリスト)
		課題設定	4	<ul style="list-style-type: none"> 住田町の「森林・林業」に携わる方々の思いや願いに関わった新たな課題を設定する。 調べた内容が妥当であるか検討する。(ピラミッドチャート) 調べる方法について個人、グループで吟味する。(ステップチャート) 		B1★見通す力 (チェックリスト)
		情報収集	10	<ul style="list-style-type: none"> 設定した課題について調べる。(インタビュー・見学等) 		B5★困難を解決しようとする力 C2★協働する力 C3★他者受容 (チェックリスト)
		実施・改善	3	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの考えを交流する。 調べた内容をもとに、これからも住田の宝である「森林・林業」を生かした取組や産業を盛んにしていくために大切にしなければならないこと、自分たちにできることを考える。 		B2★多角的・多面的に考える力 (ルーブリック評価)
		まとめ振り返り	8	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習から、森林を守り育てていくために自分たちができることをまとめる。 発表する相手を意識したまとめ方や発表方法を考える。 まとめたり発表の練習をしたりする。 ゲストティーチャーを招き発表会を行う。 発表会を振り返り、単元を通して感じたことや考えたことをまとめる。 		B3★提案・発信する力 C1★伝え合う力 C2★協働する力 D2★創出する力 D3★自己肯定感 (パフォーマンス評価)

単元名 ぶどう組さんと交流しよう

(独自単元)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○保育園児と触れ合い、仲良くなることを目標に取り組むことができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○相手に伝わるような表現の仕方や分かりやすい説明の仕方を考えることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○交流方法について何をどのように伝えればよいかを話し合う中で、自分の考えが伝わっているかを確認しながら伝えたり相手の考えを聞いてさらによりよいものにしたりすることができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○保育園児に活動内容伝える中で感じたことや考えたことから、成果や課題をふり返ることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・世田米小学校で毎年行われている保育園児との交流を通して、保育園児と触れ合い、仲良くなることを目標に取り組んでいる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・幼児レースの仕方や学校の様子を保育園児にわかるように伝えることができるように計画を立てている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・活動の内容を保育園児に分かりやすく伝えるためには、どのようなことをどのように伝えればよいかを考えて取り組んでいる。
	3 ☆提案・発信する力	・保育園児が興味をもち、世田米小学校について理解するためにはどのような表現の仕方、どのような発信方法がよいかを考えて選択し、決定している。
	4 ★好奇心・探究心	・保育園児との交流についてこれまでの学習を振り返り、伝えたいことを考えて調べている。
	5 ★困難を解決しようとする心	・保育園児への伝え方についてあらゆる方法の中からよい方法を選択し、解決するまで粘り強く調べている。
C 関人す関資係形成能力に	1 ☆伝え合う力	・グループで考えたことを共有する中で、自分の考えや意図を明確に伝えたり、相手の考えを聞いたりしてよりよいものにまとめようとしている。
	2 ☆協働する力	・保育園児に伝えるためにグループで説明などの役割分担をし、協力しながら積極的にグループ活動に参加している。
	3 ★他者受容	・グループで活動する中で自分の考えを主張するだけでなく、友達の考えも共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方がることを理解している。
D 関自律的資活動能力に	1 ☆感じ取る力	・取り組みの中で取り組み状況を振り返り、目的を捉え直したり説明内容や方法が妥当であるかを考えたりして、よりよいものを目指している。
	2 ☆創出する力	・保育園児に世田米小学校のことを知ってもらうためにはどのような工夫が必要か考え、アイデアを出したりして創意工夫して取り組んでいる。
	3 ★自己肯定感	・今回の取り組みを通して成果と課題を確認し、自分のできるようになったことを感じている。

単元の指導

(全 10 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
5	保小連携(運動会)	課題への気付き	1	【ぶどう組との交流活動① 運動会招待レース】 ・この交流活動を通して、園児と交流するために必要なことを考え、幼児レースのお世話をすることを確認する。 (招待状作り)	道徳 『親切・思いやり』『くずれ落ちた段ボール箱』A	A◎地域理解 (チェックリスト)
		課題解決	1	・園児との交流活動では、どのような活動をするのか流れを確認する。		B5★困難を解決しようとする心 (チェックリスト)
		振り返り	1	・交流活動を通して、園児のために考えてできたことを振り返り、感じたことや考えたことをシートにまとめる。		D1☆感じ取る力 (パフォーマンス評価)
10	保小連携(学校探検)	課題への気付き	1	【ぶどう組との交流活動② 学校探検】 ・この交流活動を通して、園児と交流するために必要なことを考え、学校の説明をしたり教えたりすることを確認する。		B2☆見通す力 (チェックリスト)
		情報収集	1	・園児との交流活動では、どのような活動をするのか流れを確認する。		B4★好奇心・探究心 (チェックリスト)
		計画を通しをもつ	3	・活動の役割分担、やり方を確認・練習する。		C2☆協働する力 C3★他者受容 (チェックリスト)
		実施・改善	1	・園児と交流活動をする。		C1☆伝え合う力 (ルーブリック評価)
		振り返り	1	・交流活動を通して、園児のために考えてできたことを振り返り、感じたことや考えたことをシートにまとめる。		D3★自己肯定感 (ルーブリック評価)
	時数計		10	時間		

単元名 ハロウィンでつながろう

(独自単元①)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○有住小学校で毎年行われている保育園児とのハロウィンを通じての交流について、保育園児と触れ合い、仲良くなることを目標に取り組むこと
	B【社会参画に関する資質能力】	○ハロウィンについて調べたことを相手に伝えるような表現の仕方や発信方法を考えることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○ハロウィンについて何をどのように伝えればよいかを話し合中で、自分の考えが伝わっているかを確認しながら伝えたり相手の考えを聞
	D【自律的活動に関する資質能力】	○保育園児にハロウィンについて伝える中で感じたことや考えたことから、成果や課題を振り返ることができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・有住小学校で毎年行われている保育園児とのハロウィンを通じての交流について、保育園児と触れ合い、仲良くなることを目標に取り組んでいる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・ハロウィンの意味合いを保育園児にわかるように伝えることをゴールとし、どのような学習の流れにするか計画をたて、見通しをもっている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・ハロウィンについて調べる中で保育園児に伝えるためには、どのようなことをどのように伝えればよいかを考えて取り組んでいる。
	3 ☆提案・発信する力	・保育園児が興味をもち、ハロウィンについて理解するためにはどのような表現の仕方、どのような発信方法がよいかを考えて選択し、決定している。
	4 ★好奇心・探究心	・ハロウィンについてこれまでの学習を振り返り、伝えたいことを考えて調べている。
	5 ★困難を解決しようとする心	・調べたいことについてあらゆる方法の中から良さそうな方法を選択し、解決するまで粘り強く調べている。
C 関人す間関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	・グループで調べたことを共有する中で自分の考えや意図を明確に伝えたり、相手の考えを聞いたりしてより良いものにまとめようとしている。
	2 ☆協働する力	・保育園児に伝えるためにグループで発表などの役割分担し、協力しながら積極的にグループ活動に参加している。
	3 ★他者受容	・みんなで活動する中で自分の考えを主張するだけでなく、友達の間でも共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があつてことを理解し、広い心で異なる意見を尊重している。
D 関自律的活動に資質能力	1 ☆感じ取る力	・取り組みの中で進捗状況を振り返り、目的を捉え直したり発表内容が妥当であるかを考えたりして、よりよい発表にしようとしている。
	2 ☆創出する力	・保育園児に喜んでもらうためにはどのような工夫が必要か考え、アイデアを出したりして創意工夫して取り組んでいる。
	3 ★自己肯定感	・今回の取り組みを通して成果と課題を確認し、次の学習活動につながるような振り返りをしている。

単元名 有住の伝統を受け継ぐ

(独自単元②)

単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○有住に伝わる伝承芸能を伝える地域の方々の思いや願いを受け、発展させていくことができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○地域の方の思いや願いを受けて、自分達の伝承芸能の踊りに生かすことができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○地域の方の思いや願いをもとに仲間や下級生にどのような点に気を付けて踊ればよいかを分かりやすく教えることができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○伝承芸能を学習していく中で、有住の伝承芸能を受け継いでいこうという思いをもつことができる。

評価規準

資質能力		評価規準
A ◎地域理解		・有住に伝わる伝承芸能を伝える地域の方々の思いや願いを受け、発展させていこうと取り組んでいる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・伝承芸能にはどのような思いや願いがあるかを知るための解決の見通しを持ち、計画を立てている。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・様々な思いや願いを知り、それらを根拠をもって関連付けたり妥当性のあるものを見出したりしてまとめている。
	3 ☆提案・発信する力	・地域の方や上級生の伝承芸能への思いや願いを受け、自分たちの踊りのめあてを立て、踊りを練習したり披露したりしている。
	4 ★好奇心・探究心	・自分が踊る踊りについて興味があることを見つけ、追求して調べている。
	5 ★困難を解決しようとする心	・地域の方の思いや願いを聞くために身近な人にインタビューしたり保存会の皆さんに聞いたりし、なかなか解決できなくても粘り強く調べている。
C 関人す間る関係資質形成能力に	1 ☆伝え合う力	・地域の方の思いや願いを受け、自分たちはどのように踊るかを考え、自分の考えを伝えたり友達の考えを受け入れたりしてより良い踊りを目指している。
	2 ☆協働する力	・運動会で自分たちの目指す踊りを披露するために、役割分担をし、下級生に踊りを教えたり友達同士で教え合ったりしている。
	3 ★他者受容	・地域の方や友達の思いや願いを共感的に受け止め、共により良い踊りを目指している。
D 関自律的資質活動能力に	1 ☆感じ取る力	・これまでの取り組みを振り返り、目標や取り組み方を修正し、より良い発表を目指している。
	2 ☆創出する力	・踊りを継承していく自分たちが主体者となり、さら踊りの完成度を高めるために意見を出し合っている。
	3 ★自己肯定感	・これまでの取り組みを通して、自分や仲間と共に成し遂げた成果やこれからの課題を見出し、今後の取り組みに生かしていこうとしている。

単元の指導

(全 7時間)

月	小單元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目(評価方法)
2	伝統	見直しをもつ	1	<ul style="list-style-type: none"> どのような思いや願いが込められているかを想像し、自分の考えをまとめる。 考えを交流する中で、自分の調べてみたいことを見つけている。 どのようにすればこれらのことを解決できるかを話し合っ解決の見直しをもち、学習の計画を立てる。 	体育 「表現」B3 C1 社会 「森林とともに生きる」B4 音楽 「わたしたちの表現」B3	B1☆見通す力 B4★好奇心・探究心
		実施・改善	1	<ul style="list-style-type: none"> 自分達で考えた方法で調べる。 		A◎地域理解 B5★困難を解決しようとする心
		振り返り	1	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーをお呼びし、調べたことが妥当かどうか確かめたりわからないことを尋ねたりする。 これまでの取り組みを振り返り、考えをまとめる。 		A◎地域理解 C3★他者受容 D3★自己肯定感
5	伝統	見直しをもつ	1	<ul style="list-style-type: none"> 練習の計画を知る。 踊りのめあてを考える。 		B1☆見通す力
5	伝統	実施・改善	2	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に教えてもらいながら、踊りの練習をする。 下級生に役割を分担し、踊りを教える。 		C3★他者受容 C2☆協働する力
5	伝統	振り返り	1	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みを振り返り、成果と課題を言語化して明らかにする。 		D3★自己肯定感
時数計			7	時間		